

オオイシソウ科

オオイシソウ

Compsopogon caeruleus (Balbis ex C. Agardh) Montagne

兵庫県ランク… A

環境省ランク… VU

■ 県内分布

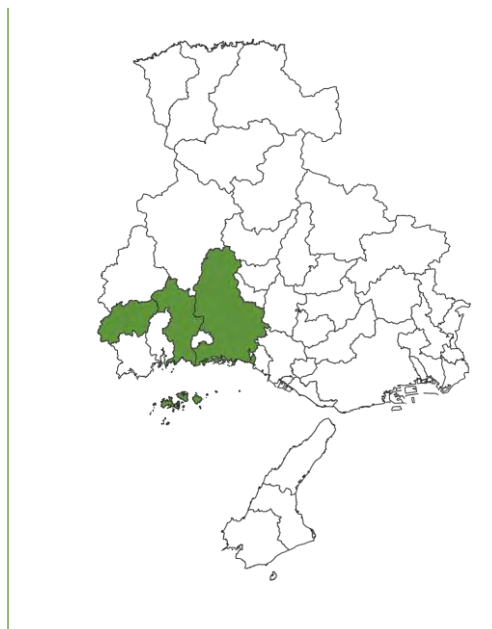
姫路市、たつの市、上郡町

■ 国内分布

北海道、青森県、福島県、埼玉県、群馬県、茨城県、東京都、千葉県、神奈川県、三重県、滋賀県、香川県、熊本県、鹿児島県、沖縄県等

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

生育地には湧水が見られる。姫路市とたつの市の生育地では消滅した可能性が高い。

■ 保護上の留意点

湧水の保全に留意する必要がある。



写真提供：佐藤裕司

■ 種の概要

藻体は暗青緑色、小さな付着器から数本のひも状または糸状の直立枝を出し、基部近くで2-3回分枝。糸状の藻体は太さ1-1.5mm、長さはふつう10-30cm。よく生長すると1mに達することもある。和名は本種の発見者大石芳三の名に由来。小河川や農業用水路の水底の石、水草等に着生。河口等の汽水域に出現することもある。